様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	さわらびセンター	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	社会福祉法人　村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢　　課
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月31日（５年間）	評価者（課長）	土田　　孝

１　令和７年度の実績

（１）事業実績

利用実績	定員35人／日、311日開所、延べ利用人数 7,308人（前年度比541人増）
サービス向上の取組	①時間延長及び利用者の希望に沿った送迎時間に柔軟に対応する。②タオル類の貸し出しを実施し、利用者の準備負担の軽減を図る。③趣向を凝らした昼食・おやつを提供し、満足度の向上に努める。④転倒予防体操、嚥下体操、口腔ケア、リハビリ計画に基づく機能訓練の充実を図る。⑤研修への参加及び職員研修の実施を通じて、技術・知識の向上に努める。

（２）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	101	8	4,101	4,210	基本協定額：　4,210　千円
	利用料金	2,920	4,348	4,693	11,961	利用者食費
	事業収入	35,848	54,959	57,459	148,266	介護報酬等
	自主事業収入	0	0	0	0	
	その他	362	0	1,194	1,556	介護保険サービス外収入
	収入合計　①	39,231	59,315	67,447	165,993	
支出	人件費	46,121	52,207	50,091	148,419	職員・臨時職員給料等
	福利厚生費	117	206	143	466	健康管理費等
	事務費	177	290	245	712	事務諸経費
	管理費	7,326	8,612	9,578	25,516	
	水道光熱費	3,783	4,279	4,990	13,052	電気料、上下水道料等
	修繕料	296	142	321	759	施設修繕
	使用料・リース料	1,641	2,636	2,480	6,757	機器リース料等
	手数料・保険料	520	593	650	1,763	賠償責任保険料等
	委託料	1,086	962	1,137	3,185	施設警備、清掃委託等
	事業費	3,865	5,138	5,533	14,536	介護消耗品等事業運営経費
	自主事業経費	0	0	0	0	
	その他	3,163	2,374	2,833	8,370	リース債務返済
	支出合計　②	60,769	68,827	68,423	198,019	
収支差額（①－②）		▲ 21,538	▲ 9,512	▲ 976	▲ 32,026	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

3　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

近年の物価高騰により、光熱費や食材費等の運営コストが増加しており、安定的な事業運営への影響が懸念されている。また、人材不足及び職員の高齢化が進行しており、特に専門職の確保が困難な状況にある。さらに、施設の老朽化に伴い、修繕や設備更新の必要性が高まっている。

（2）課題解決に向けた取組

物価高騰への対応として、光熱費や食材費等の経費について見直しを行い、無駄の削減や効率的な運営に努めた。人材不足への対応としては、関係機関との連携強化により人材確保に努め、研修の充実や職場環境の改善により職員の定着に取り組んだ。.施設の老朽化については、優先順位を踏まえた修繕計画を立て予算要求をしている。安全性の確保を最優先とし、日常点検の徹底、不具合の早期発見・対応に努めている。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

苦情までにはならない意見は、相談記録に記載し検討会議を行っている。
意見には速やかに対応し、善処した。
アンケートで利用回数を増やしたいといった要望を頂いた。ケアマネジャーに連絡し利用回数増に繋げた。

②その他

4　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

リハビリを目的とした利用者の増加に伴い、午前中に機能訓練指導員を配置し、支援体制の充実を図りました。あわせて、リハプランシステムを導入し、計画・実施・評価を一体的に管理しながら、適切な機能訓練を実施しました。
昼食については、季節の食材を取り入れた彩り豊かなメニューを提供しました。いずれも手作りで、利用者の好みに配慮した内容とし、大変好評をいただきました。おやつについても、季節感を大切にした華やかな手作りのものや、村上市内の銘菓を取り入れるなど工夫し、昼食・おやつともに利用者の皆様から高い評価を得ることができました。
利用者数の増加にはつながらない状況もありましたが、利用者の福祉の向上とご家族の介護負担の軽減を常に意識し、利用者・ご家族双方に寄り添ったサービスの提供に努めることができました。

（2）施設所管課の評価

・午前中への機能訓練指導員配置やリハプランシステム導入による支援体制の充実、季節感のある手作り昼食や村上市内銘菓を取り入れたおやつの提供など、利用者から高い評価を得ている点を評価する。
・関係機関と連携した人材確保・職場環境改善や、光熱費・食材費の見直しによる経費削減、老朽化に対する計画的な修繕と安全確保に自主的に取り組んでいる。
・利用者数の増加に繋がらない状況のほか、物価高騰による運営コスト増加、専門職の不足や職員の高齢化が今後の課題である。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

・今後もケアマネジャー等との連携を密にしながら効果的なアピールを行い、新規利用者の獲得と安定した施設運営に努めていただきたい。
・専門職をはじめとする計画的な人員確保と職員の定着、老朽化に伴う適切な施設管理を進めるとともに、好評である食事や機能訓練等の強みを活かした質の高いサービス提供に努めていただきたい。